SONY

2-655-762-**06** (1)

Data Projector

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-FX52/FX52L

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

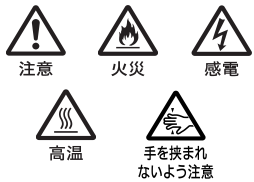
⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。
「JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限定値高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。」

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

ご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

安全のために

フィルターを必ず取り付けて使用してください。

目次

お客様へ

⚠警告

CD-ROMに収録された設置説明書は、特約店様用に書かれたものです。
お客様が設置説明書に記載された設置工事を行うと、事故などにより死亡や大けがにつながることがあります。お客様自身では、絶対に設置工事をしないでください。
設置については必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズをのぞかない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から50cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。

必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、CD-ROM内の特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

アースキャップは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

禁止

火災の原因となることがあります。

撮影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

注意

ランプ交換時に、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください(有料)。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬するときは必ず左右側面を両手で持つ

禁止

- 運搬するときは、必ず左右側面を両手で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。
- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

電源コード / 接続ケーブルに足を引っかけない

注意

電源コードや接続ケーブルに足を引っかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

レンズシフト調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

レンズシフトに指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

規定の電圧で使用する

指示

規定外の電圧で使用すると火災や感電の原因となることがあります。

長期保管時は不安定な場所に立てておかない

注意

倒れたり落ちたりしてけがの原因になることがあります。

フィルターカバーが外れている状態で使用しない

注意

ファンが回転すると手を挟まれることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

↓

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、過熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした乾電池を使わない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

⚠注意

- 乾電池の外装のチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の電池を使用する。

⚠警告

使用済みの電池は、取扱説明書または地域のルールに従って処分してください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」という

メッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告　下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

火災　感電

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、速やかに医師にご相談ください。

本機または使用済みランプを廃棄する場合

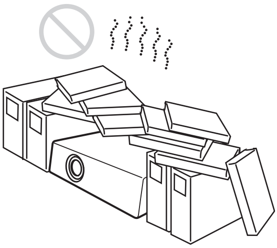
本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

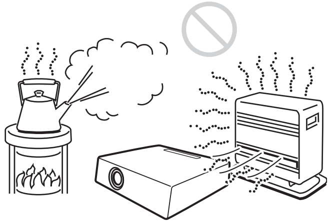
次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所



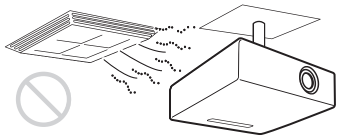
- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMPオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から50cm以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



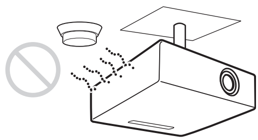
温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所



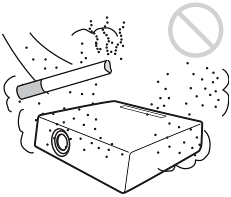
結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば



感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所



ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

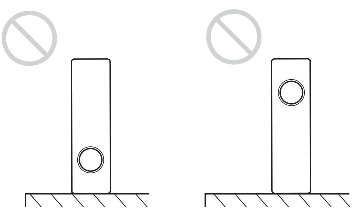
高地で使用する場合

海抜1500m以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードの設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

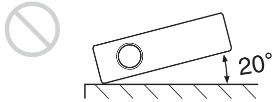
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない



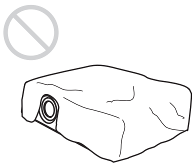
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない



プロジェクターを20度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない



吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。

結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

特約店様へ

設置を安全に行うために、この「安全のために」に記載されたすべての項目（お客様用を含む）と CD-ROM の内容をよくお読みください。

警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

通風孔をふさぐような場所に設置しない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 50cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。

天井への取り付けには細心の注意をはらう

注意

- 天井への取り付け強度が不充分だと、落下により死亡や大けがにつながることがあります。
  必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポート PSS-620 を使用してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書、CD-ROM 内の特約店様用設置説明書、取扱説明書および PSS-620 の取付説明書の注意事項をお読みください。
- 取り付けは、PSS-620 の取付説明書の手順に従い確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。
  また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

調整用工具を内部に入れない

禁止

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。
万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

容量の低い電源延長コードを使用しない

禁止

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。プラグから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

⚠注意 **下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。**

アジャスター調整時、手を挟まないよう注意する

注意

アジャスターを回しすぎるとアジャスターがはずれ、手を挟むことがありますのでご注意ください。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続コードを足に引っかけると転倒したり、プロジェクターの落下によりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。

低い天井に天吊りしない

指示

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

不明な点はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

設置場所について

- 前面の吸・排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、吸気口および排気口をふさがないように設置してください。
- 温度・湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 床置きおよび天井つり以外の設置でお使いになると、色むらやランプ寿命の劣化などの問題が起こることがありますので避けてください。

本機の特長

高輝度・高画質映像

高輝度

300 W 高輝度ランプおよびマイクロレンズ付高開口率 LCD パネルの採用により、6000 ANSI ルーメンの均一で明るい映像を再現できます。

高解像度

約 79 万画素の高精細 1.3 インチ（33.0 mm）の XGA パネルを 3 枚採用し、RGB 入力時には、水平解像度 1024 ドット、垂直解像度 768 ドットを、ビデオ入力時には、水平解像度 750TV 本を実現しました。

高画質映像

ソニーオリジナルのダイナミック・ディテール・エンハンサー機能を搭載、インターレースのビデオ画像をプログレッシブに変換して精細な映像を再現します。また、映画ソフトなど 2-3 プルダウン方式の素材を忠実に再現します。また、RGB 映像には、RGB シャープネス機能を搭載、よりシャープな RGB 映像を実現します。さらに、10 ビット 3 次元デジタルガンマ補正回路の採用により、均一性に富む映像を再現できます。

優れた設置性

電動ズーム／フォーカスレンズ、レンズシフト機能

1.3 倍の電動ズーム、電動フォーカスレンズを標準装備 *、プロジェクターの位置を変えることなく投射画面の大きさを変えることができます。さらに、レンズシフト機能により、キーストーン（台形）歪みを起こすことなく広い範囲での設置が可能です。
また、設置状況に合わせて 3 種類のオプショナルレンズに交換することができます。

* VPL-FX52（標準レンズ付き）のみ

レンズセンター

レンズを本体の中心に配置、スクリーンセンターと一致して設置しやすい構造になっています。

前後傾け設置に対応

本機を上方向に 90°、下方向にも 90° まで傾けての設置が可能です。ミラーを使用してのリア投影などにも対応できます。

ダイレクトパワーオン / オフ機能

ブレーカーなどで、システム全体の AC 電源を直接入れたり、切ったりすることが可能です。

ツインスタック対応

レンズシフト機能により、本体を 2 台まで重ね合わせて設置することができ、より明るい映像を得ることができます。

ネットワークによる状態監視、システム拡張

LAN の環境に取り込むことにより、離れたところから Web 経由で本機のランプの使用時間などの情報の取得や制御が可能です。
また、ランプの交換時期やエラー情報などをあらかじめ設定したアドレスにメールでお知らせするメールレポート機能を持ち、SNMP にも対応しています。

様々な入力信号に対応

DVI 端子、5BNC 端子、HD D-sub15 ピンを装備

デジタル入力端子、DVI（Digital Visual Interface）端子を装備、デジタル RGB 機器と接続できます。さらに、ワークステーションなどへの高精細信号の接続や長距離伝送用にも対応できる 5BNC 入力端子も装備しています。

対応入力信号

コンポジット、S ビデオ、コンポーネントのビデオ信号をはじめ、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA（60Hz）信号を表示することができます。あらかじめ 46 種類の入力信号がプリセットされています。

6 つのカラー方式に対応

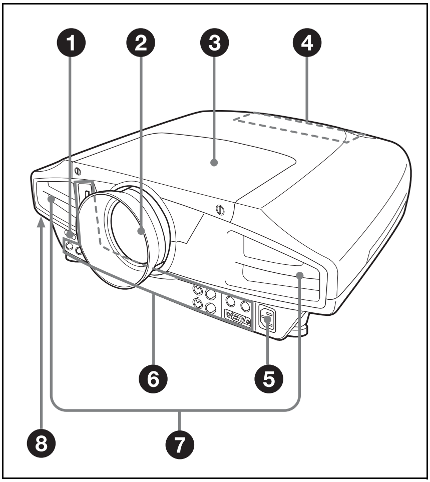
自動切り換えで $NTSC_{3.58}$、PAL、SECAM、$NTSC_{4.43}$[1)]、PAL-M、PAL-N の 6 つのカラー方式に対応します。

---

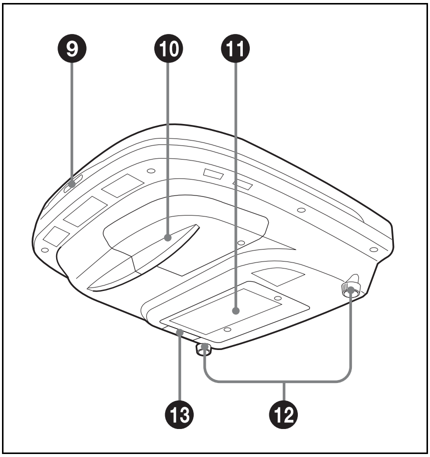
1) $NTSC_{4.43}$ とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、$NTSC_{4.43}$ 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

各部の名称と働き

前面



後面／底面



❶ **前面リモコン受光部**

❷ **レンズ**

投影する前には、レンズキャップを外してください。

※ VPL-FX52L はレンズ別売

❸ **レンズカバー**

❹ **コントロールパネル**

◆詳しくは、「コントロールパネル」(19 ページ) をご覧ください。

❺ **AC IN（電源）コンセント**

付属の電源コードを接続します。

❻ **コネクターパネル**

◆詳しくは、「コネクターパネル」(22 ページ) をご覧ください。

❼ **排気口**

⚠警告

・排気口、吸気口をふさがないでください。

・排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

・排気口は高温になるので、手を触れたり、近くに物を置かないでください。

❽ **盗難防止用ロック**

市販の盗難防止用ケーブル (Kensington 社製 1)) などを接続することができます。

Kensington ホームページアドレス http://www.kensington.com/

1) Kensington は Kensington Technology Group の登録商標です。

❾ 後面リモコン受光部

❿ ランプカバー

⓫ 吸気口

⓬ アジャスター

プロジェクターを設置する場所が水平でない場合、プロジェクターが水平になるように調整します。
アジャスターを左右に回して調整します。右に回すと高くなり、左に回すと低くなります。

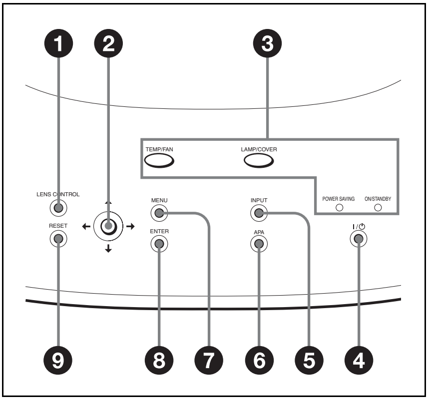
⓭ エアーフィルター

◆詳しくは「エアーフィルターをクリーニングする」(60 ページ) をご覧ください。

ご注意

本機の性能を保持するために定期的にエアーフィルターのクリーニングを行ってください。

コントロールパネル



❶ LENS CONTROL（レンズコントロール）キー

入力信号の画面の位置や大きさ、フォーカスを調整するとき、このキーを押して調整項目を選び、矢印キーで調整します。押すたびに、「レンズフォーカス」、「レンズズーム」、「レンズシフト」の順に切り換わります。
スクリーンに選択している項目が表示されます。

レンズフォーカス：フォーカスを調整するとき選びます。
次に、矢印キーを押して調整します。
↑ または → キーを押すと、遠い側にフォーカスが合うようになります。↓ または ← キーを押すと、近い側にフォーカスが合うようになります。
別売のレンズを取り付けたときは動きません。

レンズズーム：画像の大きさを調整するとき選びます。次に、矢印キーを押して調整します。

⬆または➡キーを押すと、画像が大きくなります。⬇または⬅キーを押すと、画像が小さくなります。
別売のレンズを取り付けたときは動きません。

レンズシフト：投射画面の垂直位置を調整するとき選びます。次に、矢印キーを押して調整します。
⬆または➡キーを押すと、画面が上に移動します。⬇または⬅キーを押すと、画面が下に移動します。

❷ ⬆/⬇/⬅/➡（矢印）キー

フォーカス、ズーム、シフト調整をするときや、メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニューの項目の数値を変えるときなどに使います。

❸ インジケーター

TEMP（温度）/FAN（ファン）：以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯：プロジェクター内部の温度が上がったとき。

点滅：ファンが故障したとき。

LAMP（ランプ）/COVER（カバー）：以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯：ランプの寿命がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

点滅：ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターが正しく装着されていないとき。

POWER SAVING（パワーセービング）：パワーセービング時に点灯します。初期設定メニューの「パワーセービング」を「オン」に設定し、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとパワーセービングになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。最初の40秒間はすべてのキーを受け付けません。パワーセービングは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。

ON（電源）/STANDBY（スタンバイ）：以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯：電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/⏻キーで電源を入れることができます。

緑色に点灯：電源が入っているとき。

緑色に点滅：本機の電源が入り操作可能になるまでの間、I/⏻キーで電源を切った後の120秒間。（本機内部の温度を下げるために、約120秒間ファンが回り続けます。）
はじめの40秒間はON/STANDBYインジケーターが早い間隔で点滅します。この間は再びI/⏻キーを押してもランプを点灯させることはできません。

◆LAMP/COVER、TEMP/FANインジケーターについて詳しくは、64ページをご覧ください。

❹ I/⏻（オン / スタンバイ）キー

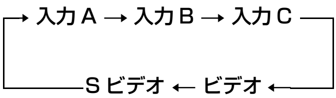
本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、ON/STANDBYインジケーターが緑色に点灯します。
電源を切るときは、画面の表示にしたがって、I/⏻キーを2度押すか、

I/⏻ キーを約1秒押したままにしてください。

◆電源を切る手順について詳しくは、「電源を切るには」(37 ページ) をご覧ください。

❺ INPUT（入力選択）キー

入力信号を選びます。押すたびに、映像信号が以下の順番で切り換わります。



❻ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に押すと、くっきり見えるように自動調整します。画面のサイズおよび上下左右のシフト調整も同時に行います。

ご注意

APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している絵柄の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しく APA 機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。

- 調整中にもう1度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- 信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- 画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の調整をしてください。

❼ MENU（メニュー）キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう1度押すとメニューは消えます。

❽ ENTER（確定）キー

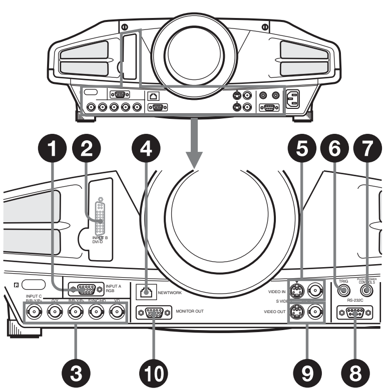
メニューの設定項目を確定するときに押します。

❾ RESET（リセット）キー

調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すときに押します。
メニュー画面、または項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

コネクターパネル

前面



❶ INPUT A（入力 A）RGB 端子（HD D-sub 15 ピン端子、凹）

コンピューターのモニター出力端子に接続します。

❷ INPUT B（入力 B）端子 /RGB（DVI）端子（DVI-D）

DVI 出力端子（デジタル）を持つコンピューターと DVI ケーブルで接続します。

❸ INPUT C（入力 C）端子 /5BNC 入力端子（R/R-Y/PR 端子、G/Y 端子、B/B-Y/PB 端子、SYNC/HD 端子、VD 端子）（BNC 型）：

プロジェクターを天つりで使用するときなど信号の長距離伝送が必要な場合は、高解像度のコンピューターやビデオなどの映像出力に接続します。

接続する機器に応じて、コンピューター信号、コンポーネント（R-Y/Y/B-Y）信号、HDTV または DTV（DTV GBR、DTV YPBPR）を入力することができます。

❹ NETWORK 端子（RJ-45）

本機のネットワーク機能を使うとき、LAN ケーブルでコンピューターと接続します。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

❺ VIDEO IN（映像入力）端子

ビデオデッキなどの映像を入力します。

S VIDEO（S 映像）端子（ミニ DIN4 ピン）：ビデオデッキなどの S 映像出力端子と接続します。

VIDEO（映像）端子（BNC 型）：ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

❻ TRIG（トリガー出力）端子（モノラルミニジャック）

本体の電源の入／切の状態を外部機器に伝えます。（外部機器に電源を供給することはできません。）本体の電源が入っているとき、この端子から DC12 V の信号を出力します。本体の電源が入っていないときは、この端子は DC0 V となります。

❼ CONTROL S / PLUG IN POWER（DC5 V）

（コントロール S 信号入力）端子（ステレオミニジャック）

コントロールS出力端子のあるソニー製品に接続します。
付属のリモートコマンダーのCONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードコマンダーとして使用することができます。このとき、電源は本体から供給されるので電池を入れる必要がありません。

❽ RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）

コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコネクターと接続します。

❾ VIDEO OUT（映像出力）端子

S VIDEO（S 映像）端子（ミニ DIN4 ピン）：S VIDEO IN 端子に入力されている映像をループスルー出力します。

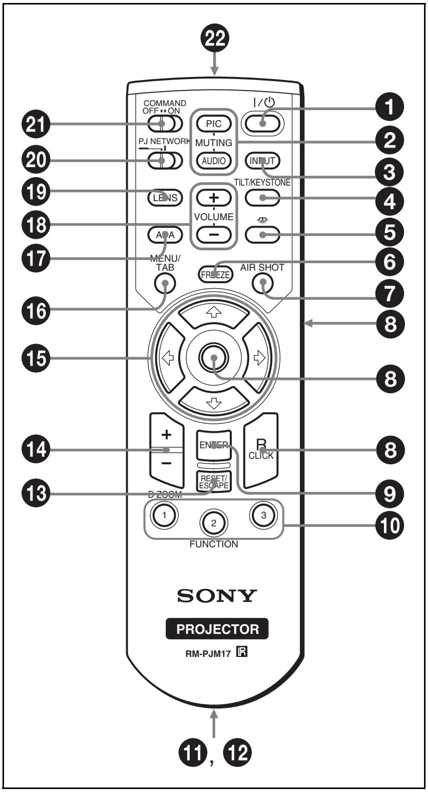
VIDEO（映像）端子（BNC 型）：VIDEO IN 端子に入力されている映像をループスルー出力します。

❿ MONITOR OUT（モニター出力）端子（HD D-sub 15 ピン、凹）

INPUT A または INPUT C の RGB 端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルで、かつコンピューターのみの信号を出力します。INPUT B 端子に接続された信号は出力されません。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



❶ I/ ⏻（オン / スタンバイ）キー

❷ MUTING（ミューティング）キー

PIC（映像）：映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

AUDIO（音声）：本機では使用しません。

❸ INPUT（入力選択）キー

❹ TILT/KEYSTONE（台形補正）キー

V キーストーン（垂直台形歪み）を手動で調整するときに使います。
↑/↓/←/→ キーを使って調整します。

❺ （メモリースティック）キー

本機では使用しません。

❻ FREEZE（フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。
解除するにはもう一度押します。
（コンピューター信号のみ対応）

❼ AIR SHOT（エアーショット）キー

本機では使用しません。

❽ コンピューターのマウス操作に関するキー

本機では使用しません。

❾ ENTER（確定）キー

❿ FUNCTION 1、2、3（ファンクション 1、2、3）キー

本機では使用しません。

⓫ ストラップホルダー

ストラップを取り付けて使用することができます。

⓬ CONTROL S OUT（コントロール S 端子）出力（ステレオミニジャック）

ワイヤードリモコンとして使う場合に、本体の CONTROL S IN 端子とつなぎます。リモコンケーブル（ステレオタイプ）で接続しているときは、プロジェクターからリモコン用の電源が供給されます。

⓭ RESET（リセット）/ESCAPE（エスケープ）キー

RESET キーとして使います。
メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、ズームした画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。
メニュー画面、または項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

⓮ D ZOOM（デジタルズーム）＋ / －キー

画面上の希望の位置を拡大することができます（デジタルズーム機能）。

⓯ ↑/↓/←/→（矢印）キー

⓰ MENU（メニュー）/TAB（タブ）キー

MENU キーとして使います。

⓱ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、初期設定メニューの「スマート APA」(46 ページ) をご覧ください。

⓲ VOLUME（音量）＋／－キー

本機では使用しません。

⓳ LENS（レンズ）キー

本体の LENS CONTROL キーと同じ働きをします。

⑳ PJ/NETWORK（プロジェクター／ネットワーク）切り換えスイッチ

本機では常に PJ（プロジェクター）側でお使いください。

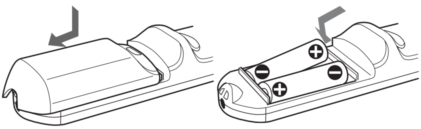
㉑ COMMAND ON/OFF（コマンダー入／切）スイッチ

このスイッチを OFF にすると、リモートコマンダーのキーがすべて働かなくなります。使わないときに OFF にしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

㉒ リモートコマンダー赤外線発光部

電池の入れかた

1 ふたをはずし、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形（R6）乾電池 2 個（付属）を入れる。



2 ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意

⚠警告 ⚠注意

別冊の「安全のために」の「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

リモートコマンダーが正常に働かなかったら、電池を交換してください。

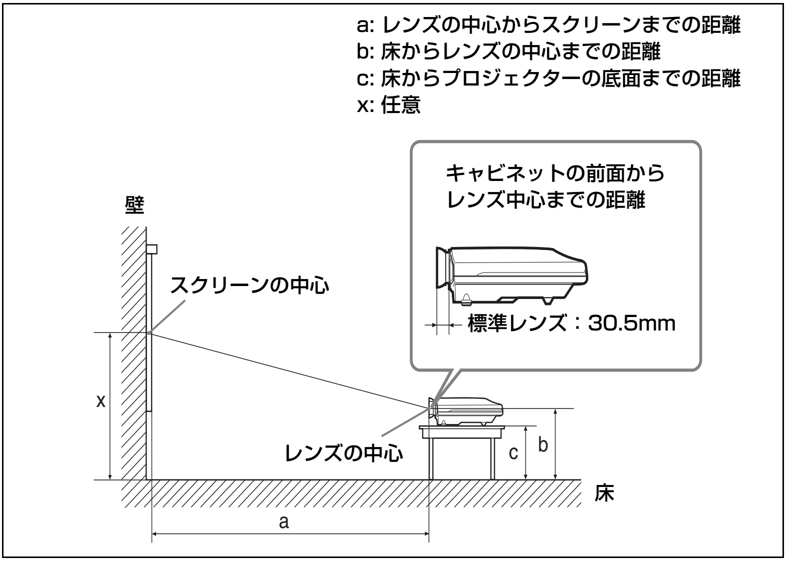
リモートコマンダーのご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

設置例

・下表はVPL-FX52（標準レンズ付き）に付属している標準レンズ装着時の設置例です。

・VPL-FX52L（レンズ別売）をご利用の場合には、特約店様用設置説明書の設置方法をご覧ください。



単位：mm

スクリーンサイズ（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
a	最小	1490	2280	3060	3850	4630	5810	6980	7770	9730	11690
	最大	1820	2780	3740	4700	5660	7100	8540	9500	11900	14300
b	最小	x-305	x-457	x-610	x-762	x-914	x-1143	x-1372	x-1524	x-1905	x-2286
	最大	x									
c	最小	x-417	x-569	x-722	x-874	x-1026	x-1255	x-1484	x-1636	x-2017	x-2398
	最大	x-102									

設置寸法の計算方法（単位 : mm）

SS: スクリーンサイズ（型）

a最小値＝｛(SS × 50.127 ／ 1.3102) − 73.9｝ × 1.025
a最大値＝｛(SS × 64.519 ／ 1.3102) − 107.9｝ × 0.975
b最小値＝x −（SS ／ 1.3102 × 9.984）
c最小値＝x −（SS ／ 1.3102 × 9.984 ＋ 112）

接続する

接続するときは

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コンピューターやビデオ機器を接続する

ここではコンピューターやビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

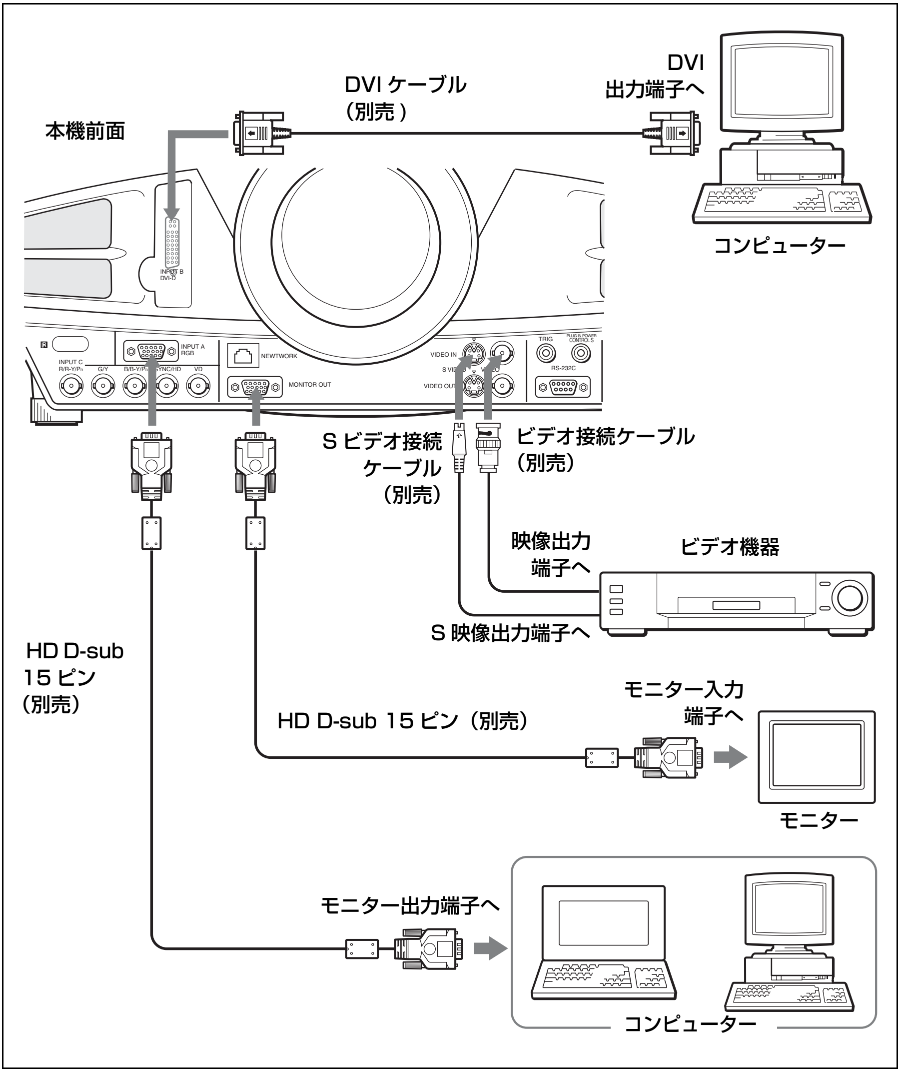
ご注意

- 本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA （60 Hz）信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号をXGA に設定することをおすすめします。
- ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、プロジェクターから正しい映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- INPUT C 端子にパソコンを接続し、そのパソコンが DDC 機能を使用する設定になっていると、プロジェクターから正常に画面表示がされない場合があります。この場合はパソコン側で DDC 機能を使わないように設定してください。
- 本機は DDC2B （Display Data Channel 2B）に対応しています。お使いのコンピューターが DDC に対応している場合は以下の手順に従って電源を入れてください。

  1 プロジェクターとコンピューターをHD D-sub 15ピンケーブルまたはDVIケーブルで接続する。
  2 プロジェクターの電源を入れる。
  3 コンピューターを起動する。

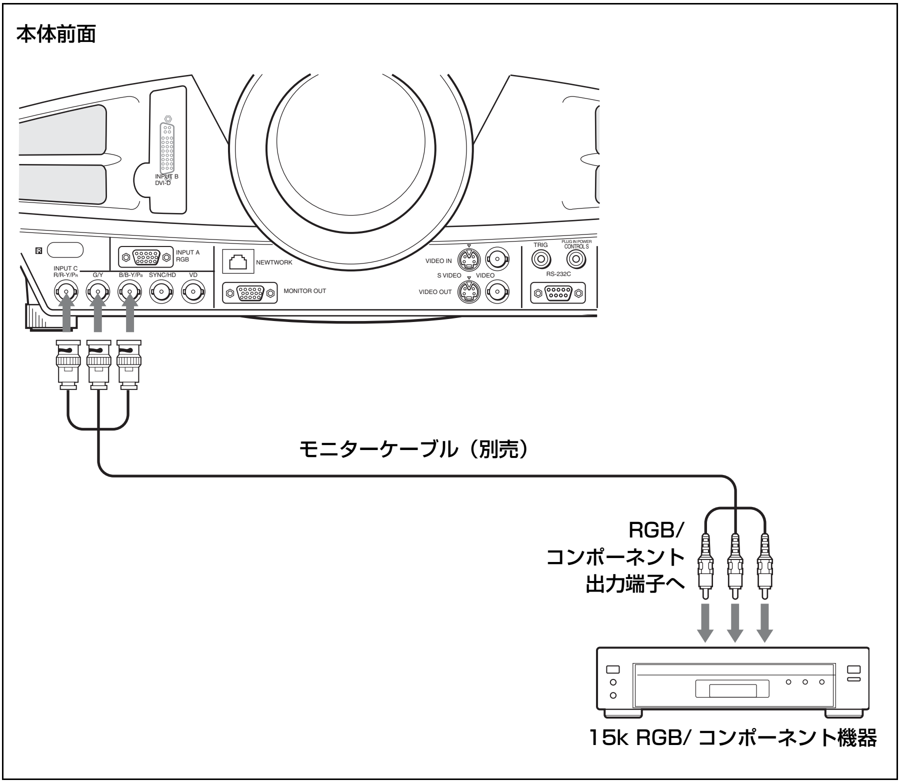


ご注意

・ビデオ出力コネクターのピン配列が 2 列タイプの Macintosh[1] シリーズをつなぐときは、市販のアダプターをご使用ください。

1) Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。

ビデオ GBR/ コンポーネント機器を接続する

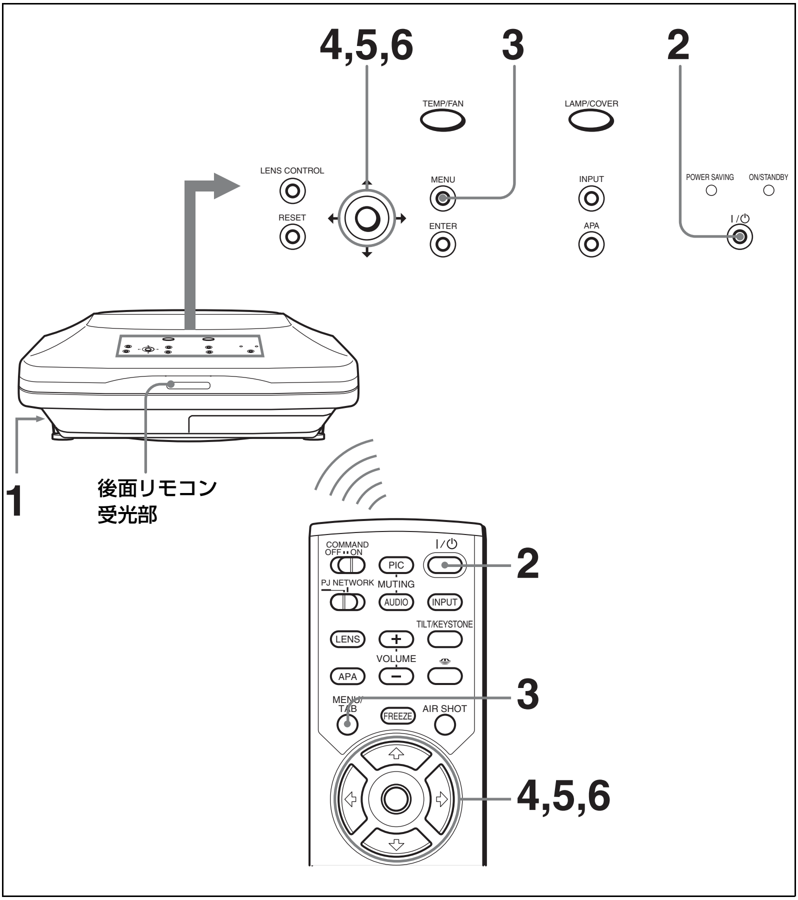


ご注意

- ビデオ GBR の出力端子に接続する場合は初期設定メニューの「入力 C 信号種別」をビデオ GBR に、15k コンポーネント機器を接続する場合はコンポーネントに切り換えてください。
- ビデオ GBR/ コンポーネント信号を外部同期信号で入力する場合は、複合同期信号にしてください。

メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を9言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」（英語）に設定されています。

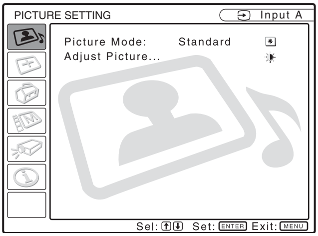


1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/ ⏻ キーを押して、電源を入れる。

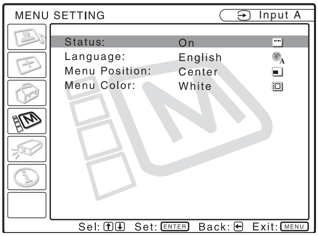
3 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

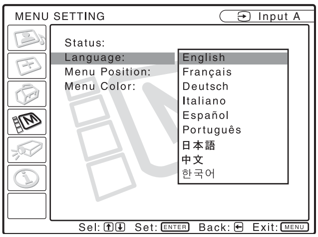


4 ↑ または ↓ キーを押して MENU SETTING （メニュー設定）メニューを選び、→ または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。



5 ↑ または ↓ キーを押して「Language」（表示言語）を選び、→ または ENTER キーを押す。



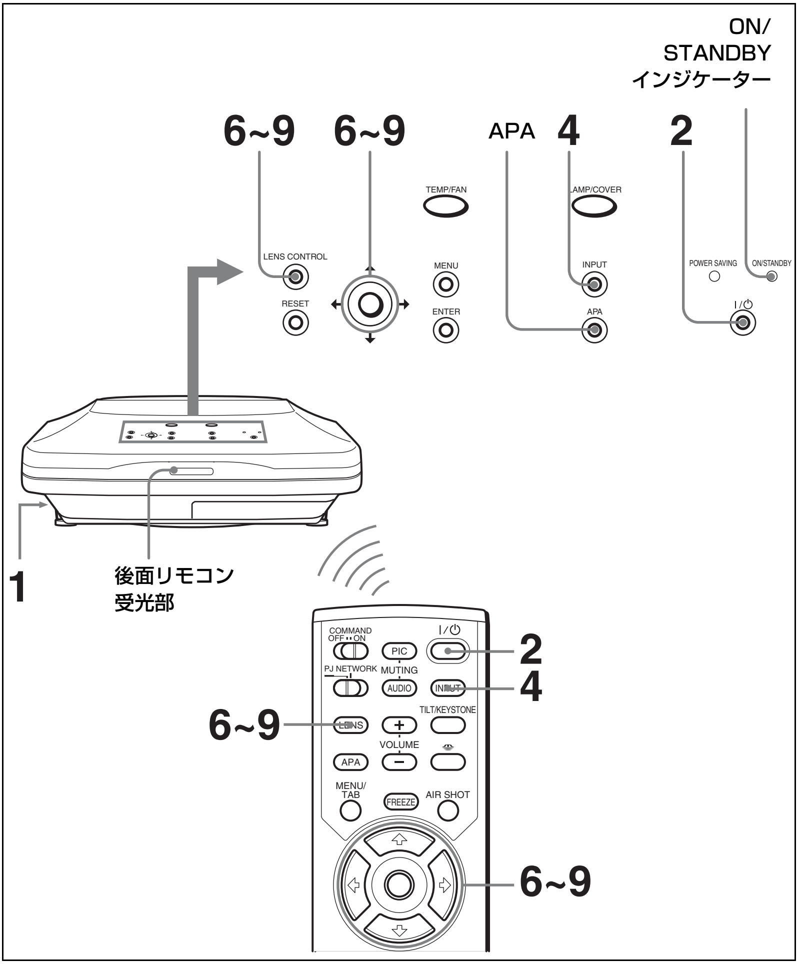
6 ↑ または ↓ キーを押して表示させたい言語を選び、← または ENTER キーを押す。

画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。
約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

スクリーンに画像を映す



1　電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。

ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

2　I / ⏻ キーを押して、電源を入れる。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に数秒間点滅した後点灯します。

3　接続した機器の電源を入れる。

4 INPUT キーを押して、投影する機器を選ぶ。

投影する機器など	画面の表示
コンピューターなど（入力A端子につないだ機器）	入力A
コンピューターなど（入力B端子（デジタル）につないだ機器）	入力B
コンピューターなど（入力C端子につないだ機器）	入力C
ビデオ機器（VIDEO端子につないだ機器）	ビデオ
ビデオ機器（S VIDEO端子につないだ機器）	Sビデオ

スマート APA（Auto Pixel Alignment）が働き、接続されている機器の画像をくっきりと調整します。

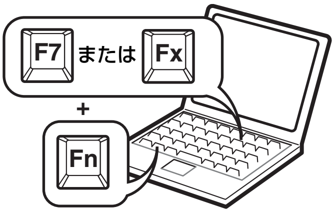
ご注意

・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。詳しくは、初期設定メニューの「オート入力サーチ」(46 ページ) をご覧ください。

・スマート APA は、コンピューターからアナログ信号を入力しているときのみ働きます。

5 接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。

ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー（LCD/VGA, ▢/💻 など）や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。



ご注意

コンピューターの種類によって、切り換えのキーが異なります。

6 リモートコマンダーの LENS キーまたは、コントロールパネルの LENS CONTROL キーを押してスクリーンに「レンズフォーカス」と表示させる。矢印キーを押してフォーカスを調整する。

7 リモートコマンダーのLENSキーまたは、コントロールパネルのLENS CONTROLキーを押してスクリーンに「レンズズーム」と表示させる。矢印キーを押して画像の大きさを調整する。

8 リモートコマンダーのLENSキーまたは、コントロールパネルのLENS CONTROLキーを押してスクリーンに「レンズフォーカス」と表示させる。矢印キーを押してもう1度フォーカスを調整する。

9 リモートコマンダーのLENSキーまたは、コントロールパネルのLENS CONTROLキーを押してスクリーンに「レンズシフト」と表示させる。矢印キーを押して画像の垂直方向の投射位置を調整する。

ご注意

電動ズーム／フォーカスは標準レンズに対してのみ有効です。別売レンズをご使用の際はレンズリングをまわして調整してください。

⚠注意

投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

映像を一時的に消すには

リモートコマンダーのPIC MUTINGキーを押します。再び映像を出すには、もう一度PIC MUTINGキーを押します。

くっきりとした画像を得るには

コンピューターからアナログ信号を入力しているときは、画質を自動的に調整することができます。

1 コンピューターから静止画像を投影する。

2 APAキーを押す。

調整が終わると、「終了しました」というメッセージが画面に表示されます。

ご注意

・APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している絵柄の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しくAPA機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。

・入力を切り換えたり、コンピューターを接続し直したときは、もう1度APA キーを押して調整しなおしてください。
・調整中にもう1度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
・信号によっては、正しく調整されないことがあります。
・画質を手動で調整するときは、信号設定メニューで調整してください。

セキュリティロックをかけるには

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源コードをコンセントに差し込んで電源を入れると、事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

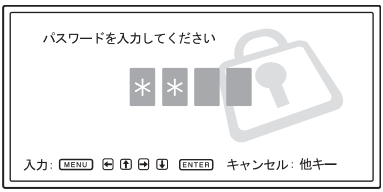
ご注意

パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

1 MENU キーを押して設置設定メニューのセキュリティロックを「入」にする。

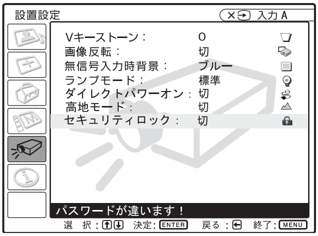
2 パスワードを入力する。

MENU、←/→/↑/↓/、ENTER の6つのキーを使用して4桁のパスワードを入力してください。
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。）
次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）
パスワードを入力画面に入れる。



3 確認の為もう一度パスワードを入力する。

「パスワードが違います！」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順1からやり直してください。



4 設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。

セキュリティロックが有効となり、次に電源をいれたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、I / ⏻ キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除するには

1 MENU キーを押して設置設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。

2 パスワードを入力する。

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったためテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国によって異なる）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

電源を切るには

1 I / ⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか？」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージは I /⏻ キー以外のキーを押すか、5 秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I / ⏻ キーを再び押す。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約 120 秒間回り続けます。はじめの 40 秒間は早い間隔で点滅します。この間は再び I / ⏻ キーを押してもランプを点灯させることはできません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

（ダイレクトパワーオン / オフ機能使用時を除く）

画面のメッセージを確認できない場合は

状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順 **1**、**2** の操作のかわりに I / ⏻ キーを約 1 秒押したままにしても電源を切ることができます。

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。スタンバイ状態を経ずに電源のオン / オフができます。

エアーフィルターについて

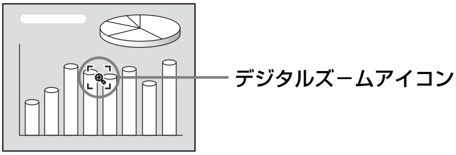
本機の性能を保持するために、**ランプ交換と同時にエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**

画面を拡大する（デジタルズーム機能）

画面上の希望の位置を拡大できます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。

1 通常の画面を映し、リモートコマンダーの D ZOOM ＋キーを押す。

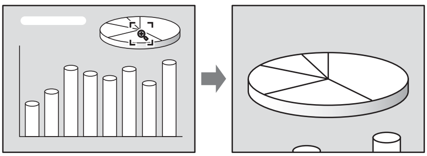
画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。



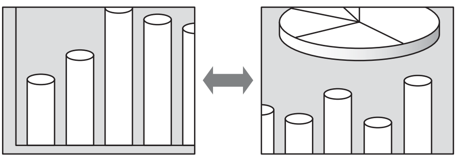
2 ↑/↓/←/→ キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

3 もう一度 D ZOOM ＋キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。＋キーを押すごとに拡大率が上がります（最大 4 倍）。



また、この状態で ↑/↓/←/→ キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



拡大した画像を元の大きさに戻すには

D ZOOM －キーを押します。一度で元の大きさに戻すには RESET キーを押します。

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーの FREEZE キーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。

元の画面に戻すには、FREEZE キーをもう 1 度押します。

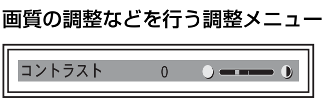
メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選択するメニューによって、設定項目がポップアップメニューに表示されるものと、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後にドット（...）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定項目が表示されます。お好みに応じて、メニュー表示のトーンを変えたり、メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語を切り換える」(30 ページ) をご覧ください。

画面に表示される項目について





入力信号表示

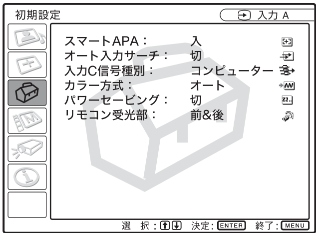
選択されている入力チャンネルを表示します。信号が入力されていないときはx⊡表示になります。メニュー設定メニューの「画面表示」で非表示にすることもできます。

入力信号設定表示

入力 C の場合：コンピューター／コンポーネント／ビデオ GBR のいずれかが表示されます。

1 **MENU キーを押す。**

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューボタンが黄色で表示されます。



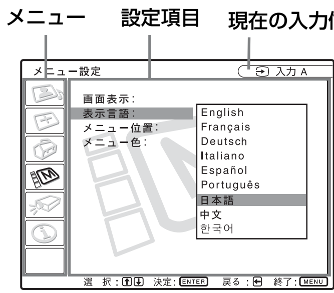
2 **⬆または⬇キーを押してメニューを選び、➡ または ENTER キーを押す。**

選んだメニューの設定項目が表示されます。

3 **⬆または⬇キーを押して設定したい項目を選び、➡ または ENTER キーを押す。**

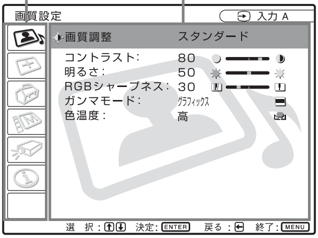
選んだ項目の設定項目がポップアップメニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー表示画面



次の階層に表示された画面

メニュー　　設定項目



4　設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

リモートコマンダーのRESETキーを押す。

「終了しました！」というメッセージが表示され、画面に表示中の**設定値が工場出荷時の値に戻ります。**

リセットできる項目は以下のとおりです。

- 「画質調整…」の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」と「RGBシャープネス」
- 「入力信号調整…」の「ドットフェーズ」、「水平サイズ」と「シフト」

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

メニューの表示について

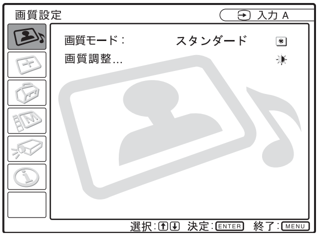
メニューの表示位置、背景色の濃さ、メニューの色をお好みに応じて変えることができます。

◆詳しくは、「メニュー設定メニュー」(47ページ)をご覧ください。

画質設定メニュー

画質や音量を調整するメニューです。入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆調整できない項目について詳しくは、71ページをご覧ください。



メニュー項目

画質モード

画質モードを「ダイナミック」、「スタンダード」の中から選択します。

ダイナミック：明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。

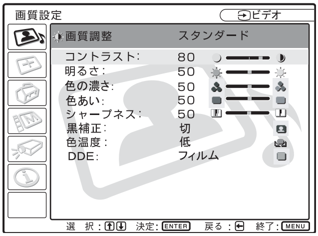
スタンダード：通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画質にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。

画質調整 ... メニュー項目

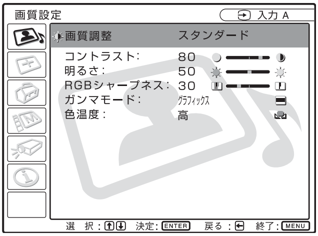
下記の項目は、「画質モード」（「ダイナミック」、「スタンダード」）ごとに設定値が記憶されます。

画質調整

ビデオ信号を入力しているとき



RGB 信号を入力しているとき



コントラスト

コントラストを調整します。設定値が大きくなると画像の明暗の差が大きくなり、小さくなると画像の明暗の差が小さくなります。

明るさ

明るさを調整します。設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

色の濃さ

色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

色あい

色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

シャープネス

シャープネスを調整します。設定値が大きくなると映像がくっきりし、小さくなると映像が柔らかくなります。

RGB シャープネス

RGB 信号の入力時にシャープネスを調整します。
設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

黒補正

黒補正をすると明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。
映像ソースに合わせて設定してください。

強：強い黒補正
弱：弱い黒補正
切：黒補正なし

ガンマモード

ガンマ補正曲線を選びます。

グラフィックス : 中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。

テキスト : 白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。

色温度

画像に合わせて好みの色温度を選びます。

高 : 画像の白い部分を青みがかった白にします。

低 : 画像の白い部分を赤みがかった白にします。

DDE（ダイナミック・ディテール・エンハンサー）

入力ビデオ信号を素材に応じて再現する方法を選びます。

切 : インターレースのまま変換せずに再生します。

プログレッシブ : インターレースのビデオ画像をプログレッシブに変換して再生します。

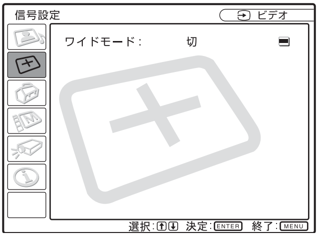
フィルム : 映画ソフトなど、2-2、2-3 プルダウン方式の素材をなめらかな動きで再現します。また、2-2、2-3 プルダウン方式以外の素材の場合は、自動的に「プログレッシブ」に切り換えて再生します。

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆調整できない項目について詳しくは、71 ページをご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



RGB 信号を入力しているとき



メニュー項目

ワイドモード

画面のアスペクト（縦横比）を選びます。
DVD プレーヤーなどから 16：9（スクイーズ）信号を入力する場合、「入」に設定してください。

切：4：3 の映像を入力しているときに選びます。

入：16：9（スクイーズ）の映像を入力しているときに選びます。

ご注意

営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイドモード切り換え機能などを利用して、画面の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

入力信号調整 ... メニュー項目

ドットフェーズ

LCD パネルとコンピューターから出力される信号の位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。

水平サイズ

コンピューターから出力される信号の画像の水平方向の大きさを調整します。設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。

◆プリセット信号に対するサイズについて詳しくは、「プリセット信号一覧」(72 ページ) をご覧ください。

シフト

画像の位置を調整します。
H で水平方向の位置を、V で垂直方向の位置を調整します。
H の設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。
V の設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。
⬅ または ➡ キーで水平方向の位置を、⬆または⬇キーで垂直方向の位置を設定します。

スキャンコンバーター

入力信号をスキャンコンバートして画面いっぱいに画像を表示します。

入 : 画像を画面の大きさに合わせて表示します。画像は少しぼやけた感じになります。

切 : 入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。

ご注意

XGA、SXGA、SXGA+、UXGA 信号を入力した場合、この項目は表示されません。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ 46 種類 の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面 (50 ページ) に表示されます。
プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。
また、プリセットメモリーとは別に、20 個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー 0 と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が 20 個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

◆プリセットされている信号について詳しくは、「プリセット信号一覧」(72 ページ) をご覧ください。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータが呼び出された後、下の表に従って、「水平サイズ 」を変更してください。
「水平サイズ 」を調整したあと、「シフト 」で微調整してください。

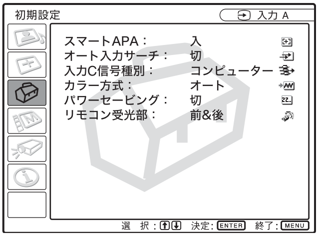
信号	メモリーナンバー	サイズ
Super Mac-2	23	1312
SGI-1	23	1320
Macintosh 19"	25	1328
Macintosh 21"	27	1456
Sony News	36	1708
PC9821 1280 × 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

ご注意

アスペクト（縦横比）が 4 : 3 以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



メニュー項目

スマート APA

APA （Auto Pixel Alignment）[1] の設定を「入」、「切」の中から選択します。

入：通常は、「入」に設定されています。コンピューターからアナログ信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。ただし、一度自動調整された信号は、ケーブルを抜き差ししたり、入力切換をした場合でも自動調整されません。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。

切：リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。

1)APA （Auto Pixel Alignment）とは、コンピューター信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。

オート入力サーチ

通常は「切」に設定されています。
「入」に設定した場合、電源投入時または INPUT キーが押されたときに、入力 A ／入力 B ／入力 C ／ビデオ／ S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。

入力 C 信号種別

INPUT C 端子に入力される信号をコンピューター信号、コンポーネント信号とビデオ GBR 信号（15k RGB、DTV、HDTV）から選びます。

カラー方式

カラーシステムを選びます。
「オート」にすると、自動的にカラーシステムを判断します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり、色がつかない場合は、入力信号のカラー方式を選択してください。

パワーセービング（節電モード）

「入」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態で 10 分以上何も操作しないと節電モードになります。

リモコン受光部

本体前面と後面のリモコン受光部（IR 受光部）の設定をします。

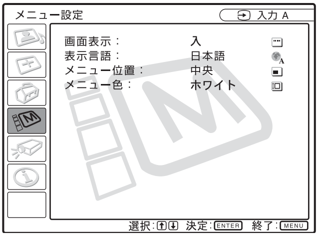
前 & 後：前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。

前：前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

後：後面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

メニュー設定メニュー

プロジェクターの表示のしかたを変更するメニューです。



メニュー項目

画面表示

画面表示の設定をします。

入：画面表示をすべて表示します。

切：メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。

表示言語

メニュー画面表示の言語を変えることができます。

「English」(英語)、「Français」(フランス語)、「Deutsch」(ドイツ語)、「Italiano」(イタリア語)、「Español」(スペイン語)、「Português」(ポルトガル語)、「日本語」、「中文」(中国語)、「한국어」(韓国語) から選ぶことができます。

メニュー位置

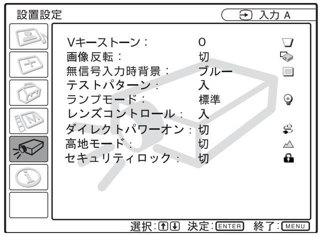
メニューの表示位置を変えることができます。
「左上」、「左下」、「中央」、「右上」、「右下」から選択します。

メニュー色

メニュー表示のトーンを変えることができます。
「ホワイト」、「ブラック」から選択します。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



メニュー項目

V キーストーン

投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。
画像の上の辺を基準にして、下の辺の方が短いときはプラス方向に、長いときはマイナス方向に数値を設定して、画像が四角形になるように調整します。

画像反転

画像を水平または垂直方向に反転します。
「切」、「上下左右」、「左右」、「上下」の中から選びます。

切：画像は反転しません。

上下左右：画像を水平、垂直方向に反転します。

左右：画像を水平方向に反転します。

上下：画像を垂直方向に反転します。

無信号入力時背景

プロジェクターに信号が入力されていない場合の画面の色を「ブラック」、「ブルー」の中から選択します。
通常は「ブルー」に設定してください。

テストパターン

「入」に設定すると、レンズズーム、レンズフォーカス、レンズシフト、V キーストーン調整時にテストパターンが表示されます。

ランプモード

投影時のランプの明るさを設定します。

高：画面が明るくなります。

標準：投影時のファン音が静かなモードです。消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。

レンズコントロール

「切」に設定した場合、リモートコマンダーの LENS（レンズ）キー、本体の LENS CONTROL（レンズコントロール）キーが動かなくなります。

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。スタンバイ状態を経ずに電源のオン / オフができます。

高地モード

切：平地でのご使用の場合の設定です。

入：1500m 以上の高地でのご使用の場合の設定です。

セキュリティロック

セットにセキュリティロックをかけます。

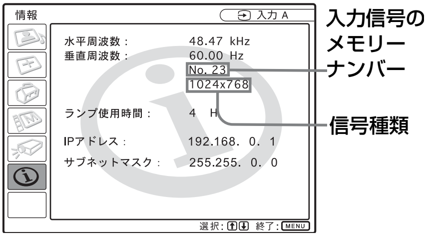
切：「切」の時は動作しません。

入：「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。

◆詳しくは、「セキュリティロックをかけるには」(35 ページ) をご覧ください。

情報メニュー

投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



メニュー項目

水平周波数

水平周波数を表示します。
周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。

垂直周波数

垂直周波数を表示します。
周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を累積して表示します。

IP アドレス

プロジェクターに設定されている IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

プロジェクターに設定されているサブネットマスクを表示します。

ご注意

これらの項目は、表示のみです。

コンピューターからアクセスする

コンピューターからプロジェクターの情報を見たり、プロジェクターを遠隔操作できます。また、ランプ交換の時期や、エラー情報などをあらかじめ設定したアドレスに自動的にメールで知らせることができます。

操作の前に

プロジェクターが LAN に接続されていることを確認し、プロジェクターの電源を入れてください。
接続について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1　コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 5.0 以上）を起動する。

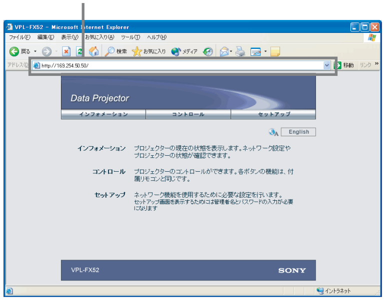
2　ブラウザのアドレスに「http://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターの IP アドレス）」と入力し、ENTER キーを押す。

◆プロジェクターの IP アドレスは、「情報メニュー」(50 ページ) で確認することができます。

ご注意

ブラウザからプロジェクターにアクセスする場合、プロキシサーバーを使用しないでください。

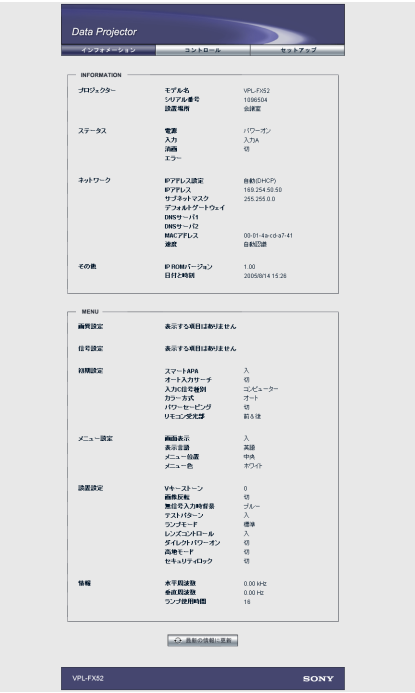
ここに IP アドレスを入力します。



プロジェクターの状態を確認する

「インフォメーション」をクリックする。

プロジェクターの情報や現在の状態などをコンピューター上で確認できます。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。



INFORMATION

プロジェクターの現在の情報を表示します。

MENU

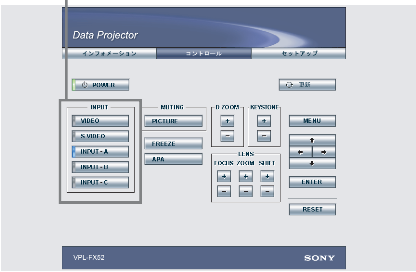
プロジェクターの現在の設定を表示します。

プロジェクターをパソコンから操作する

「コントロール」をクリックする。

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作できます。
各ボタンの働きは、本機に附属のリモコンの同名のボタンと同じです。

現在の設定が点灯します

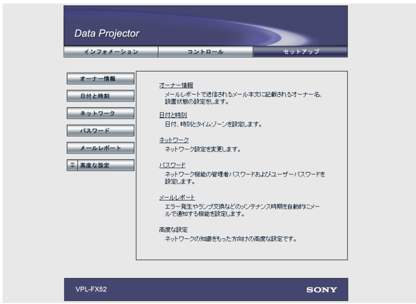


リモコンで設定を変えた場合は、画面右上の「更新」をクリックすると、設定の変更が反映されます。

設定する

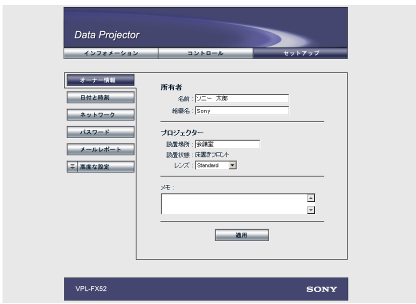
「セットアップ」をクリックする。

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。お買い上げ時は、「ユーザー名：root」に設定されています。（パスワードは設定されていません。）
所有者情報や日時、メールレポートの設定ができます。各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「適用」をクリックするとプロジェクターに反映されます。



オーナー情報

ここで設定された情報はメールレポート機能で使用されます。



所有者

所有者の情報を入力します。

プロジェクター

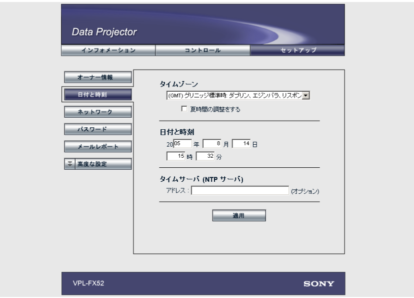
プロジェクターの設置場所、使用しているレンズタイプを入力します。

メモ

メモを入力しておくことができます。

日付と時刻

日時の設定は、メールの自動送信の際に必要です。



タイムゾーン

お住まいの地域を選びます。

日付と時刻

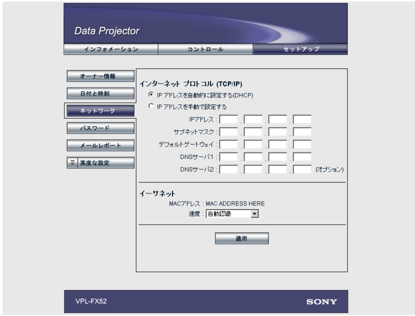
年月日および時刻を入力します。

タイムサーバー

正確な時刻情報を自動取得するためのタイムサーバーのアドレスを入力します。

ネットワーク

ネットワークの設定に必要な情報を入力します。



インターネットプロトコル（TCP/IP）

通常は「IP アドレスを自動的に設定する」（DHCP）に設定します。「IP アドレスを手動で設定する」を選んだ場合は、各数値を入力してください。

イーサネット

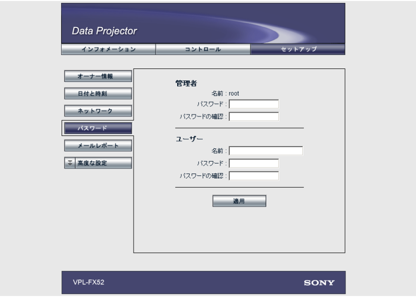
ドロップダウンリストから通信速度および通信モードを選択します。（通常はオートに設定します。）

ご注意

- IP アドレスを変更した場合、古いアドレスでのアクセスはできなくなります。
- 設定を初期設定状態に戻す場合は、プロジェクターの電源が入った状態でコントロールパネルのキーを　RESET、ENTER、⬇、ENTER の順に５秒以内に押し、画面に表示されるメッセージに従ってリセットしてください。

パスワード

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。



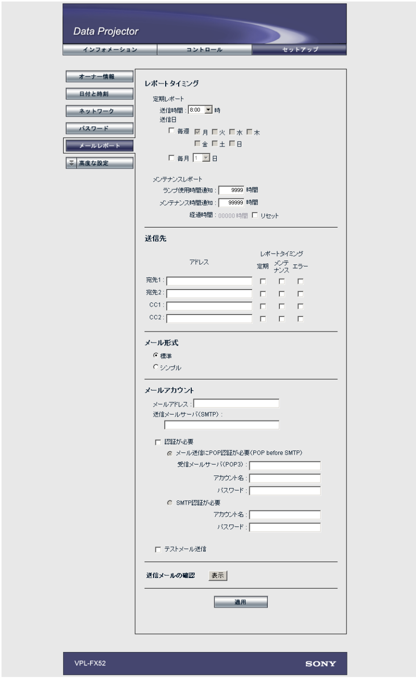
ご注意

- パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れた時は、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

メールレポート

メールレポート機能を使って、次のことができます。

- プロジェクターの設置状況やユーザー情報を定期的に通知します。送信日も指定できます（定期レポート）。
- プロジェクターにエラーが発生した場合、直ちにメールで通知します（エラー通知）。
- ランプの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、ランプの交換時期がきたことをメールで通知します（ランプ使用時間通知）。
- プロジェクターの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、メンテナンス時期がきたことをメールで通知します（メンテナンス時間通知）。



レポートタイミング

定期レポート

プロジェクターの現在の状態や設置状態などのレポートが定期的に発行され、メールで送信されます。
下記で送信するタイミングを設定します。

送信時間：レポートを発行する時間を指定します。１時間単位で設定できます。

毎週：このチェックボックスをチェックすると、毎週、指定した曜日にレポートが発行されます。

月／火／水／木／金／土／日：レポートを発行する曜日を指定します。複数の曜日を指定することもできます。

毎月：このチェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから日を選ぶと、毎月決まった日にレポートが発行されます。レポートする内容は、製品情報、ユーザー情報、使用時間、ランプモード、メモなどです。

メンテナンスレポート

ランプ使用時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにランプ交換時期の時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、ランプ交換時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は 1 ～ 9999 時間です。

メンテナンス時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにメンテナンスの時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、メンテナンスの時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は 1 ～ 99999 時間です。

「経過時間」に前回リセットしたときからの経過時間が表示されます。「リセット」のチェックボックスをチェックし、「適用」をクリックすると、経過時間が 0 にリセットされます。

送信先

アドレス：各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に 4 箇所に送信できます。各アドレスの最大入力文字数は 64 文字です。

レポートタイミング

定期：定期レポートを送信したいときにチェックします。

メンテナンス：ランプ使用時間、メンテナンス時間を通知したいときはチェックします。

エラー：エラーが発生したときに通知したいときはチェックします。

ご注意

- レポートタイミングで、送信日を指定しても「定期」のチェックボックスがチェックされていないとレポートは発行されません。また、「毎月」の指定日が存在しない月の場合は、月末にレポートを発行します。
- レポートタイミングで、「毎週」または「毎月」のチェックボックスがチェックされていない場合、曜日または日の指定はできません。

メール形式

メール形式を「標準」と「シンプル」から選びます。

メールアカウント

メールアドレス：割り当てられたメールアドレスを入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

送信メールサーバー（SMTP）：メールサーバーのアドレスを設定します。最大入力文字数は 64 文字です。

認証が必要：メール送信に認証が必要な場合は、チェックボックスをチェックしてください。

メール送信に POP 認証が必要（POP before SMTP）：SMTP サーバーに接続する前に POP 認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。

受信メールサーバー（POP3）：メール受信に使用する POP3 サーバーのアドレスを入力します。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

SMTP 認証が必要：メール送信時に SMTP 認証が必要な場合には、チェックボックスをチェックしてください。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

テストメール送信：指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「適用」をクリックすると送信されます。

ご注意

テストメールは、以下の項目が設定されていない場合、または設定が正しくないと、エラーメッセージが表示され、送信できません。

・送信先のアドレス
・メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）

メールの設定方法について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

送信メールの確認

送信されるメールの内容を確認します。

高度な設定

「高度な設定」をクリックすると「Advertisement」、「PJ Talk」、「SNMP」のボタンが表示されます。各設定項目は主に管理用のものです。詳しくは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ご注意

文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、光源のランプが切れたり、暗くなったり、「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたりしたら新しいランプと交換してください。ランプ寿命はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売のプロジェクターランプ LMP-F300 をお使いください。

⚠警告

I / ⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから 1 時間以上**してから行ってください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、最寄のテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損していた場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。
・メッセージを消す場合は、リモートコマンダーキーまたはコントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

ご注意

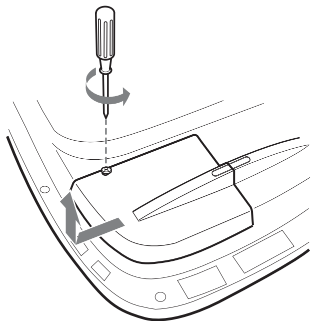
本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

2 プロジェクターや机に傷がつかないよう布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。

ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

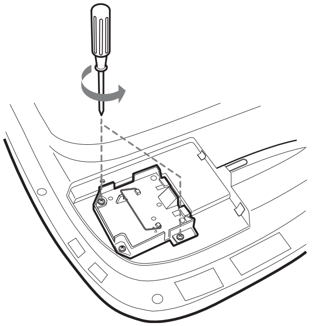
3 ランプカバーのネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを横にスライドさせて取り外す。



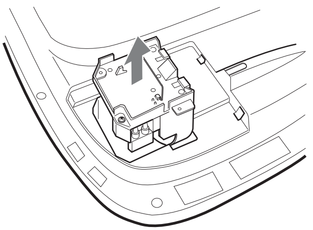
ご注意

安全のため他のネジは絶対にはずさないでください。

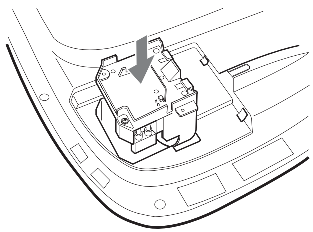
4 **ランプのネジ（2 本）をプラスドライバーでゆるめる。**



5 **取り出し用ハンドルを持ってランプを水平にし、まっすぐ上に引き出す。**



6 **新しいランプを確実に奥まで押し込み、ランプのネジ（2 本）を締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。**



ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
・取り付けの際に、ネジをきつく締めすぎないようご注意ください。

7 **ランプカバーを閉め、ネジ（1 本）を締める。**

ご注意

ランプカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと電源が入りません。

8 **プロジェクターの向きを元にもどす。**

9 **電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。**

10 **コントロールパネルのキーを RESET キー、⬅ キー、➡ キー、ENTER キーの順に、5 秒以内に押す。**

⚠警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

エアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換と同時にエアーフィルターのクリーニングが必要です。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。ランプ交換と同時は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずして掃除してください。

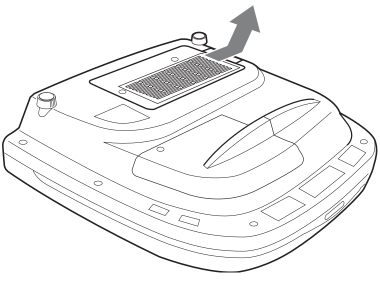
1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

2 プロジェクターや机に傷がつかないよう布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。

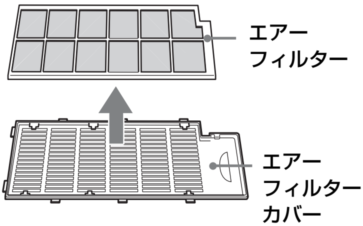
ご注意

プロジェクターをしっかりと安定させてください。

3 エアーフィルタカバーを矢印方向にスライドさせて取り外す。

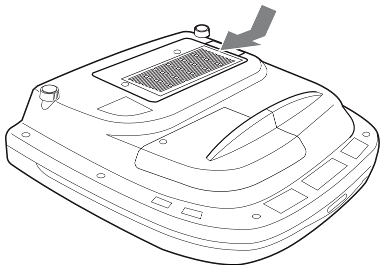


4 エアーフィルターをエアーフィルターカバーの6カ所のつめから外す。



5 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

6 エアーフィルターカバーにエアーフィルター、シートの順に組み立て、プロジェクターに取り付ける。



ご注意

・エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。
・フィルターを掃除機で掃除しても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアーフィルターと交換してください。

・エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう１度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔ 約 40 秒たってから電源を入れてください。(37 ページ) ・ランプカバーがはずれている。 ➔ ランプカバーをしっかりとはめてください。(59 ページ) ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。(60 ページ)
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが２つとも点灯している。	・電気系統の故障です。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。(27 ページ) ・入力切り換えが正しくない。 ➔ INPUT キーで正しく選んでください。(33 ページ) ・映像が消画（ミューティング）される。 ➔ PIC MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。(34 ページ) ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔ 出力信号をコンピューターの外部モニター**のみに**出力するように設定してください。 ➔ ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 ・INPUT C 端子にパソコンから信号を入力している。 ➔ パソコン側の DDC 機能を確認してください。(27 ページ)

症状	原因と対処
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数と LCD パネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔ お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
INPUT C 端子から入力している映像の色がおかしい。	・初期設定メニューの「入力 C 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 C 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(46 ページ)
INPUT C 端子から正しく信号を入力しているのに「入力 C の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	・初期設定メニューの「入力 C 信号種別」が入力信号と合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 C 信号種別」でコンピューター、ビデオ GBR、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(46 ページ)
画面表示が出ない。	・画面表示の設定が「切」になっている。 ➔ 画面表示の設定を「入」にしてください。(47 ページ)
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔ 画質の調整をしてください。(42 ページ) ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔ 入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(46 ページ)
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔ 画質設定メニューで正しく設定してください。(42 ページ) ・ランプが消耗している。 ➔ ランプを交換してください。(58 ページ)
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔ フォーカスを合わせてください。(34 ページ) ・結露が生じた。 ➔ 電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔ スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔ 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。(45 ページ)

お手入れ

症状	原因と対処
画面がちらつく。	・信号設定メニューのドットフェーズの設定が合っていない。 ➔ 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。(44 ページ)

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	・電池の寿命がきた。 ➔ 新しい電池と交換してください。(25 ページ)
リモートコマンダーで MENU キーを押してもメニュー画面が出ない。	・PJ/NETWORK 切り換えスイッチが NETWORK 側になっている。 ➔ PJ/NETWORK 切り換えスイッチを PJ 側にして、MENU キーを押してください。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターが点滅する。	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ カバーをしっかりはめてください。(58、60 ページ)
LAMP/COVER インジケーターが点灯する。	・ランプの寿命がきた。 ➔ ランプを交換してください。(58 ページ) ・ランプが高温になっている。 ➔ 120 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう 1 度電源を入れてください。(37 ページ) ・電気系統の故障です。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケーターが点滅する。	・ファンが故障している。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケーターが点灯する。	・内部が高温になっている。 ➔ 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが２つとも点灯している	・電気系統の故障です。 ➔ お買い上げ店にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セット内部温度が高いです。 1 分後に LAMP オフします。	・内部の温度が高くなった。 ➔ 電源を切ってください。 ➔ 排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲を超えています！	・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 ➔ 対応範囲内の信号を入力してください。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 ➔ 出力信号の設定を XGA にしてください。(27 ページ)
入力 C の設定を確認してください。	・初期設定メニューの「入力 C 信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターから RGB 信号を入力した。 ➔「入力 C 信号種別」を正しく設定してください。(46 ページ)
ランプを交換してください。	・ランプの交換時期がきた。 ➔ ランプを交換してください。 ・メッセージを消す場合 ➔ リモートコマンダーキーまたはコントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。 ・ランプ交換後もメッセージが表示される場合 ➔ 作業が完成していません。「ランプを交換する」の手順 9、10 を行ってください。(59 ページ)

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
入力信号がありません。	・本体に何も入力されていない。 ➔ 接続を確認してください。(27 ページ)
無効キーが押されました。	・操作が正しくない。 ➔ 正しいキーを押してください。

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCDパネル、1レンズ、3原色光シャッター方式

LCDパネル　1.3インチ（33.0 mm）マイクロレンズアレイつきTFT SONY LCDパネル 2,359,296画素（1024 × 768 × 3）

レンズ　約1.3倍電動ズームレンズ f 50.8 ～ 64.0 mm/F 1.7 ～ 2.0
* VPL-FX52Lはレンズ別売

ランプ　300 W

投影画面サイズ　40型～ 300型（1,016 mm ～ 7,620 mm）

光出力　6000 lm1)

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。

VPL-FX52（標準レンズ付き）の投影距離（床置き）

スクリーンサイズ	距離（mm）
40型　(1,016 mm)	1490 ～ 1820
60型　(1,524 mm)	2280 ～ 2780
80型　(2,032 mm)	3060 ～ 3740
100型　(2,540 mm)	3850 ～ 4700
120型　(3,048 mm)	4630 ～ 5660
150型　(3,810 mm)	5810 ～ 7100
180型　(4,572 mm)	6980 ～ 8540
200型　(5,080 mm)	7770 ～ 9500
250型　(6,350 mm)	9730 ～ 11900
300型　(7,620 mm)	11690 ～ 14300

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N 自動切り換え／手動切り換え

解像度　水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号[1)]

fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz

（最高入力解像度信号 : UXGA 1600 × 1200 fH: 75kHz, fV: 60Hz）

1) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号

15k RGB 50/60Hz, Progressive Component 50/60Hz DTV（480/60I, 575/50I, 1080/60I, 480/60P, 575/50P, 1080/50I, 720/60P, 720/50P, 540/60P）Composite video, Y/C video

入出力

VIDEO IN：VIDEO：BNC 型

コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン

Y（輝度）信号 :1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

C（クロマ）信号 :

バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）

バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）75Ω 終端

VIDEO OUT：VIDEO IN：ループスルー BNC 型

VIDEO IN 端子のループスルー出力

S VIDEO：ループスルーミニ DIN4 ピン

S VIDEO IN 端子のループスルー出力

INPUT A（入力 A）：アナログ RGB：HD D-sub 15 ピン（凹）

R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

同期付 G：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

B：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

SYNC/HD：複合同期入力：1 ～ 5 Vp-p、ハイインピーダンス、正負極性

水平同期入力：1 ～ 5 Vp-p、ハイインピーダンス：正負極性

VD：垂直同期入力：1 ～ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性

INPUT B （入力 B）：デジタル RGB：DVI-D（TM-DS）

INPUT C （入力 C）：アナログ RGB/ コンポーネント：5BNC（凹）

R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）

同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）

B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB
（75Ω 終端）
SYNC/HD：複合同期入力：
1 ～ 5 Vp-p、ハイインピー
ダンス、正負極性
水平同期入力：1 ～ 5
Vp-p、ハイインピーダンス、
正負極性
VD：垂直同期入力：1 ～ 5
Vp-p、ハイインピーダンス、
正負極性

MONITOR OUT：HD-D-sub 15 ピン
（凹）
R, G, B: Gain Unity：
75Ω SYNC/HD
VD：4 Vp-p（オープン）、
1 Vp-p（75Ω）
（デジタル RGB からの入力
信号は、MONITOR OUT
からは出力されません。）

TRIG： ミニジャック
電源オン時：DC12V、出力イ
ンピーダンス 4.7kΩ
電源オフ時：0V

RS-232C： D-sub 9 ピン（凹）

CONTROL S IN/
PLUG IN POWER：ステレオミニジャック、
5Vp-p、プラグインパワー
DC5V

NETWORK：RJ-45：10BASE-T/100BASE-
TX

一般

外形寸法 VPL-FX52：480 × 169 × 502
mm（幅／高さ／奥行き）
（突起部含む）
VPL-FX52L：480 × 169 ×
464 mm（幅／高さ／奥行
き）（突起部含む）

質量 VPL-FX52：約 10.5 kg
VPL-FX52L：約 9.1 kg

電源 AC100 ～ 240 V、50/60 Hz

消費電力 最大 400 W
スタンバイモード時：7 W
（NW 機能動作時）

発熱量 1365 BTU

動作温度 0 ℃ ～ ＋ 35 ℃

動作湿度 35 % ～ 85 %（結露しないこと）

保存温度 － 20 ℃ ～ ＋ 60 ℃

保存湿度 10 % ～ 90 %

付属品 リモートコマンダー（1）
単 3 形乾電池（2）
レンズキャップ（1）*
電源コード（1）
交換用エアーフィルター（1）
取扱説明書、設置説明書
（CD-ROM）（1）
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

* VPL-FX52（標準レンズ付き）のみ

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

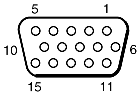
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売アクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-F300 （交換用）
プロジェクターサスペンションサポート
PSS-620
シグナルインターフェースケーブル
SIC10（5 × BNC（凹）⟷ 5 × BNC（凹））
プロジェクションレンズ
長焦点ズームレンズ VPLL-ZM101
F=2.0 ～ 2.6
f=89 ～ 133.5 mm
マニュアルフォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 型～ 300 型
（1,016 mm ～ 7,620 mm）
投影距離
100 型（2,540 mm）:
6810 ～ 10030 mm
200 型（5,080 mm）:
13840 ～ 20270 mm
300 型（7,620 mm）:
20870 ～ 30500 mm
最大外形寸法
100 × 100 × 222 mm （幅×高さ×奥行き）
質量
1810 g
短焦点固定レンズ VPLL-FM21
（リア投影（打ち込み角 0 ° ）用）
F=2.0
f=24.5 mm
マニュアルフォーカス
投影画面サイズ
40 型～ 300 型
（1,016 mm ～ 7,620 mm）
投影距離
100 型（2,540 mm）: 1850 mm
200 型（5,080 mm）: 3780 mm
300 型（7,620 mm）: 5720 mm
最大外形寸法
140 × 140 × 233 mm
（幅 ×高さ×奥行き）
質量
1850 g
短焦点ズームレンズ VPLL-ZM31
F=1.9 ～ 2.0
f=41.4 ～ 45.6 mm
マニュアルフォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 型～ 300 型
（1,016 mm ～ 7,620 mm）
投影距離
100 型（2,540 mm）:
3150 ～ 3300 mm
200 型（5,080 mm）:
6410 ～ 6710 mm
300 型（7,620 mm）:
9680 ～ 10120 mm
最大外形寸法
154 × 154 × 252 mm
（幅×高さ×奥行き）
質量
3140 g

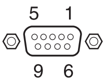
ピン配列

INPUT A 端子
RGB 入力端子（HD D-sub 15 ピン、凹）



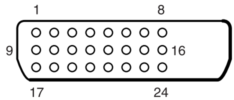
1	映像入力（赤）R	9	N.C
2	映像入力（緑）G	10	接地
3	映像入力（青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号 / 複合同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）



1	NC	6	RESERVE
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

INPUT B 端子
DVI 端子（DVI-D、凹）



1	T.M.D.S. Data2–	14	+5 V Power
2	T.M.D.S. Data2+	15	Ground（return for +5 V, HSync, and VSync）
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield		
4	NC	16	Hot Plug Detect
5	NC	17	T.M.D.S. Data0–
6	DDC Clock	18	T.M.D.S. Data0+
7	DDC Data	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
8	NC	20	NC
9	T.M.D.S. Data1–	21	NC
10	T.M.D.S. Data1+	22	T.M.D.S. Clock Shield
11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	23	T.M.D.S. Clock+
12	NC	24	T.M.D.S. Clock–
13	NC		

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、下の表をご覧ください。
調整･設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたは S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
コントラスト	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
色の濃さ	○（白黒信号を除く）	○	○	×
色あい	○（NTSC 3.58/4.43 のみ）（白黒信号を除く）	○	○	×
シャープネス	○	○	○	×
RGB シャープネス	×	×	×	○
黒補正	○	○	○	×
ガンマモード	×	×	×	○
色温度設定	○	○	○	○
DDE	○	○（480/60i、575/50i）	○（480/60i、575/50i）	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

信号設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたは S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター
ドットフェーズ	×	×	×	○
水平サイズ	×	○（15 kHz 信号以外）	○（15 kHz 信号以外）	○
シフト	×	○（15 kHz 信号以外）	○（15 kHz 信号以外）	○
スキャンコンバーター	×	×	×	○（SVGA 以下）
ワイドモード	○	○	○	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
1	ビデオ 60 Hz		15.734	59.940	H- 負 V- 負	
2	ビデオ 50 Hz		15.625	50.000	H- 負 V- 負	
3	15k RGB/ コンポーネント 60 Hz		15.734	59.940	S on G/Y または コンポジット シンク	
4	15k RGB/ コンポーネント 50 Hz		15.625	50.000		
5	HDTV		33.750	60.000		
6	640 × 350	VGA モード 1	31.469	70.086	H- 正 V- 負	800
7		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H- 正 V- 負	832
8	640 × 400	PC9801 ノーマル	24.823	56.416	H- 負 V- 負	848
9		VGA モード 2	31.469	70.086	H- 負 V- 正	800
10		VGA VESA 85 Hz	37.861	85.080	H- 負 V- 正	832
11	640 × 480	VGA モード 3	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800
12		Macintosh 13"	35.000	66.667	H- 負 V- 負	864
13		VGA VESA 72 Hz	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832
14		VGA VESA 75 Hz	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840
15		VGA VESA 85 Hz	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832
16	800 × 600	SVGA VESA 56 Hz	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
17		SVGA VESA 60 Hz	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
18		SVGA VESA 72 Hz	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
19		SVGA VESA 75 Hz	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
20		SVGA VESA 85 Hz	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
21	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H- 負 V- 負	1152
22	1024 × 768	XGA VESA 43 Hz	35.524	86.958	H- 正 V- 正	1264
23		XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
24		XGA VESA 70 Hz	56.476	69.955	H- 負 V- 負	1328
25		XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
26		XGA VESA 85 Hz	68.677	84.997	H- 正 V- 正	1376
27	1152 × 864	SXGA VESA 70 Hz	63.995	70.019	H- 正 V- 正	1472
28		SXGA VESA 75 Hz	67.500	75.000	H- 正 V- 正	1600
29		SXGA VESA 85 Hz	77.487	85.057	H- 正 V- 正	1568
30	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負	1504
31		Sunmicro HI	71.713	76.047	コンポジット シンク	1472
32	1280 × 960	SXGA VESA 60 Hz	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
33		SXGA VESA 75 Hz	75.000	75.000	H- 正 V- 正	1728

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
34	1280 × 1024	SXGA VESA 43 Hz	46.433	86.872	H- 正 V- 正	1696
35		SGI-5	53.316	50.062	S on G	1680
36		SXGA VESA 60 Hz	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
37		SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	H- 正 V- 正	1688
38		SXGA VESA 85 Hz	91.146	85.024	H- 正 V- 正	1728
39	1600 × 1200	UXGA VESA 60 Hz	75.000	60.000	H- 正 V- 正	2160
43	480/60P	480/60P （倍速 NTSC）	31.470	60.000	S on G	
44	575/50P	575/50P （倍速 PAL）	31.250	50.000	S on G	
45	1080/50I	1080/50I	28.130	50.000		
47	720/60P	720/60P	45.000	60.000		
48	720/50P	720/50P	37.500	50.000		
50	540/60P	540/60P	33.750	60.000		
52	1400 × 1050	SXGA+	63.981	60.020	H- 負 V- 負	1688

ご注意

- 上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- メモリーナンバー 22 と 34 はインターレース信号です。
- SXGA+ 信号を入力した場合、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。その場合、画像のまわりに黒い部分が映っていない信号を入力し、接続しているケーブルの抜き差しをするか、INPUT キーを押して再度入力信号を選んでください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

その他

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1